

生産性向上支援訓練カリキュラム

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター
実施機関名： 合同会社ヤオヨロズテック

A. バックオフィス	AI(人工知能)活用
新技術活用	

コースのねらい	AI(人工知能)の概要とビジネスの現場におけるAIの具体的な活用場面等について理解し、AI活用に係る知識を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」		「主な内容、演習」	訓練時間(H)
	1	AI(人工知能)の概要	(1)DX時代の到来【演習あり】 ・第4次産業革命・Society5.0などの時代の変化を解説し、DXに至る背景の理解を目指します、企業運営で避けては通れないDX(デジタル・トランスフォーメーション)や人間中心としたデジタル社会実装であるSociety5.0について説明しデジタルを活用した業務改善の必要性について考察します。 【演習】自社の課題洗い出し演習 (2)AI(人工知能)とは【演習あり】 ・人工知能の歴史と適用が広がり身近になった現状を説明。 ・IoTの普及でデータ量の増加、大量のデータを瞬時に処理するコンピュータの能力向上などAIが急激に進化した背景と理由を説明し、AIの種類と技術動向を実例を見ながら解説。 【演習】AI活用シミュレーション演習 (3)機械学習・ニューラルネットワーク・ディープラーニング ・AIの基礎技術となる機械学習について物体を判断する時の事例のプロセスを見ながら説明。 ・機械学習の仕組みと手法、構築に必要なスキルについて説明。 ・初心者でもわかるAIの基本的な仕組みとなるニューラルネットワークとディープラーニングについて、また現在活用されている事例について考察します。 (4)ゼロから始める生成AIの活用【演習あり】 ・Chatgptに代表される生成AIのしくみと出来ることを解説・実演し、受講者の業務における活用イメージを具体化して頂きます。 ・文章の作成にとどまらず、業務における日報形式での報告書の作成などプロンプトを活用したデモンストレーションを行います。 【演習】生成AIの使い道洗い出し演習	3.0
	2	AIの活用事例と今後の展望	(1)AIの具体的な活用事例と自社業務への適応方法の説明【演習あり】 ・生成AIを活用した業務の事例の紹介と既に実用化されているAIサービスについて説明します。 ・参加企業の業務内容の可視化業務のどの箇所でのAI活用が可能かを全員で考えるワークショップを実施します。 【演習】③AIアプリケーション活用シミュレーション演習 (2)AI導入の課題【演習あり】 ・AIを活用するにあたってのDX人材育成についての説明 ・社内業務効率化に向けてのAI活用と、顧客への新たな価値を創出していくためのAI活用について考察する演習を実施します。 【演習】④AI活用計画立案の演習 ・グループ代表者の具体的な業務内容・業務における課題などを浮き彫りにしていきます。 (3)AIの今後の展望【演習あり】 ・AI関連技術のロードマップ(シンギュラリティとAGIについて) ・自然言語でのロボットコントロール事例 ・AIに置き換わる可能性のある職業についてグループワークを通じて考察を行う 【演習】⑤業務における生成AI活用演習 ・具体化された課題へのアプローチとして実際にChatgptを利用し課題解決方法を探求します。参加者は課題に対してのアプローチ方法についてAIに相談したり、社内業務のAIへの置き換え方法について考察します	3.0
合計時間				6.0

カリキュラム作成のポイント(重要)
・働く環境の変化や日本の現状、テクノロジーの最新動向を理解した上で、業務上の課題解決に活用できるAIについての知識習得を図ります。一方的な知識ではなく、双方向や演習を通じて、現場で実践活用できるようになるための演習を挟みます。理解および知識としての吸収をしやすくするために動画を使用した解説やツールの実演も行います。 ・業務に活用できるIT新技術が使われているツール(ChatGPT、RPAツールなど)をその場で仕様や使い方を表示して実際の動きを見てもらったり、低コストでリスキリングに使えるサービスなど活用できるツールを即実践できるように紹介します。 ・受講者自身が抱えている課題とAI活用事例が紐づくように演習を実施し、最終的に現場で活用できるアウトプットを目指す。 ・グループワークで取り組めるコーヒープレイクの論理的思考トレーニングの演習等も間に挟んで受講者が飽きない工夫をします。